



道元禅師所用硯／縦 17.2 cm×横 11.3 cm×厚さ 1.5 cm

道元禅師所用と伝わる硯（すずり）である。この硯が収納された漆箱の漆蓋表には「奉寄進 御硯箱」とあり、箱裏には「永明禅師座下智仙」とある。永明とは、永平寺三十世光紹智堂（1610～70）のことである。この箱は、光紹智堂が永平寺住職であった折、光紹の門下である智仙が永平寺常住に寄進したものである。